

科目名	法学 Law			担当教員	山岡健次郎			
学 年	5 年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	2	
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	11G05_20310	単位区別	履修	
学習目標	法と社会との関係性について学ぶ。私たちは日々、法に取り囲まれて生活しているが、法を意識することは少ない。法は私たちの生活とどのような接点を持つのか。法の限界とは何か。そうした問題について原理的に考えていく。							
進 め 方	90 分の授業の前半は、学生による文献発表と討論を行う。 授業の後半では、発表と討論を受け取るかたちで講義を行う。							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標				
	1. イントロダクション（1） 2. 法とはなにか（3） 3. 法の発展（2） 4. 法と裁判（2） 5. 法の基準と解釈（2） 6. 近代日本と法（2） 7. 法と現実社会とのギャップ（2） ----- [前期中間試験]（1）			法についての原理的な理解を深める 日本社会における歴史的な法の変遷を理解する A3:1 A3:2				
	8. 答案返却・解答（1） 9. 近代国家と憲法（2） 10. 基本的人権（2） 11. 刑法の基礎（2） 12. 犯罪の成立要件（2） 13. 刑事訴訟法の基礎（2） 14. 裁判員制度について（2） 15. 不法行為法の基礎（2）			憲法とは何か、立憲主義の精神を把握する 裁判員制度についての理解を深める A3:3 A3:2				
	前期末試験							
	16. 答案返却・解答（1） 17. 近代市民社会の原則（2） 18. 契約法の基礎（2） 19. 資本主義市場経済と法（2） 20. グローバル経済と法（2） 21. 近代家族と法（2） 22. パスポートという制度（2） 23. 国際労働力移動と法（2） ----- [後期中間試験]（1）			自治の原則を知り、契約の重要性について学ぶ 資本主義と法との密接な関係性についての理解を深める A3:3 A3:1				
	24. 答案返却・解答（1） 25. 国民と外国人（2） 26. 外国人定住化問題（2） 27. 難民とは誰か（2） 28. 法の限界（3） 29. まとめ（1）			グローバル化する人の移動と法との関係性を理解する A3:2 法の限界を知る A3:1				
	後期末試験							
	30. 答案返却・解答（1）							
	評価方法	定期試験（70％）、文献発表（30％）で総合評価する						
	履修要件	特になし						
関連科目	政治経済（3年）							
教 材	教科書：末川博 編 『法学入門』 有斐閣双書							
備 考	特になし							